

看護学部看護学科 総合型選抜に係る Q&A

1、浪人生なのですが、総合型選抜への出願は可能ですか？

出願できます。詳しくは、学生募集要項にてご確認ください。

2、総合型選抜タイプⅠ（専願制）とタイプⅡ（併願可）の違いを教えてください。

総合型選抜タイプⅠとタイプⅡは、選考時期、選考方法、出願区分が異なります。タイプⅠは専願制となりますので、合格した場合は、本学への入学を確約できる方が対象です。修学資金制度を希望される方については、タイプⅠでの受験となります。

また、タイプⅡは1次試験で個別面接を実施し、2次試験で大学入学共通テストの成績を利用します。

3、総合型選抜タイプⅠ（専願制）とタイプⅡ（併願可）を併願することはできますか？

できません。タイプⅠは専願制となりますので、合格した場合は、本学への入学を確約できる方が対象です。

4、総合型選抜タイプⅠ（専願制）と学校推薦型選抜を同時に出願することはできますか？

今年度に限り、総合型選抜タイプⅠと学校推薦型選抜（公募制）は同日に実施いたしますので、両方の選抜に出願することが可能です。ただし、令和9年3月までに高等学校等を卒業見込みの方（現役生）のみ対象となります。両選抜に出願される場合は、それぞれの選抜ごとに出願サイトで出願登録を行い、出願書類をご準備のうえ、入学検定料をお支払いください。

なお、入学検定料については、後日1回分（35,000円）を返還いたします。

返還手続きの詳細は、以下のページをご確認ください。

<https://www.tohoku-mpu.ac.jp/exam/150752/>

5、小論文ではどのようなことが評価されますか？

小論文では、文章や図表などの資料を読み取り、分析する力、論理的に思考する力、また、それらを的確に文章で表現する力を評価します。

6、面接ではどのようなことが評価されますか？

受験者1名に対し、複数の面接官で行う個人面接です。調査書等の内容に基づいて、勉学への意欲や学科への適性を評価します。

7、面接の終了時刻は何時頃ですか？

面接が終了した受験者から適宜解散となりますが、新設学部である看護学部では、最終の面接終了時間の目安を示すことができません。

看護学部看護学科 学校推薦型選抜に係る Q&A

1、看護学部の学校推薦型選抜（指定校制）で、指定されている学校を教えてください。

指定校のご案内は 11 月上旬頃に指定高等学校等に個別に通知しています。ご自身の高等学校等へ直接ご確認ください。

2、看護学部の学校推薦型選抜（指定校制）の募集要項はどのようにして入手できますか？

インターネット出願のページに掲載されていません。

指定校制の募集要項は、大学ホームページへは掲載しておりません。11 月上旬頃に指定校宛に郵送しています。ご自身の高等学校等へ直接ご確認ください。

3、浪人生なのですが、学校推薦型選抜の出願は可能ですか？

出願できません。出願資格があるのは、現役生（令和 9 年 3 月に高等学校、もしくは中等教育学校を卒業見込み方）のみです。

4、学校推薦型選抜では専願となっていますが、総合型選抜タイプ I と同時出願はできますか？

入試日程の変更に伴い、総合型選抜タイプ I と学校推薦型選抜（公募制）は同日に実施いたしますので、両方の選抜に出願することが可能です。ただし、令和 9 年 3 月までに高等学校等を卒業見込みの方のみ対象となります。両選抜に出願される場合は、それぞれの選抜ごとに出願サイトに出願登録を行い、出願書類をご準備のうえ、入学検定料をお支払いください。

なお、入学検定料については、後日 1 回分（35,000 円）を返還いたします。

返還手続きの詳細は、以下のページをご確認ください。

<https://www.tohoku-mpu.ac.jp/exam/150752/>

5、学校推薦型選抜で不合格となった者が、一般選抜等を受験することはできますか？

受験できます。新たに書類（調査書など）や手続が必要です。

6、面接時の服装はどのようなものがいいですか？

面接時の服装に決まりはありませんが、現役生の場合は高校の制服で受験される方が多いです。

7、面接の形式を教えてください。

受験者 1 名に対し、複数の面接官で行う個人面接です。調査書等の内容に基づいて、勉学への意欲や学科への適性を評価します。

8、面接の終了時刻は何時頃ですか？

面接が終了した受験者から適宜解散となりますが、新設学部である看護学部では、最終の面接終了時間の目安を示すことができません。

看護学部看護学科 修学資金制度に係る Q&A

1、 看護学部修学資金制度とはどのような制度ですか？

本学独自の修学資金制度です。地域医療を担う看護職の育成と定着を目的として、学生の経済的負担を支援します。

2、 いくら貸与されますか？

4年間で総額460万円（年間115万円）の貸与を予定しています。

3、 この制度を利用すると学費負担はどのくらいになりますか？

看護学部の4年間の学費約705万円に対し、460万円が貸与されるため、実質負担額は約245万円となり、国公立大学と同程度の学費となります。

4、 貸与された修学資金は返還が必要ですか？

卒業後に看護師として本学附属病院で一定期間勤務した場合、貸与額全額の返還が免除されます。

5、 採用人数を教えてください。

1学年あたり5名です。

出願時に修学資金制度を希望した者のうち、総合型選抜タイプⅠ（専願制）合格者から3名、一般選抜（前期）合格者から2名を採用します。

6、 出身地による応募制限はありますか？

ありません。全国どこからでも志願することができます。

7、 他の奨学金制度と併用できますか？

JASSO（日本学生支援機構）等、卒業後の就業業務などが指定されていない奨学金等であれば併用できます。